

令和元年8月21日

えびの市議会議長 上原康雄 様

(1班)
代表者 栗下政雄 議員
(2班)
代表者 蔵園晴美 議員

令和元年度 議会報告会報告書

えびの市議会報告会実施要領第10条第1項の規定により、下記のとおり報告します。

記

開催日時	令和元年8月9日(金)午後7時00分～午後9時00分	
開催場所	文化センター	
参加者人数	14名	
出席議員	班代表者	栗下政雄 議員、蔵園晴美 議員
	議会代表者	上原康雄 議長
	報告者	竹中雪宏 議員
	記録者	小東和文 議員、西原義文 議員
	総括	北園一正副議長、西原政文議員、西原義文議員、松窪ミツエ議員、 金田輝子議員、吉留優二議員、蔵園晴美議員、竹中雪宏議員、 小東和文議員、中山義彦議員、小宮寧子議員

1. 議会報告に対する主な質疑応答

質問：産業団地整備事業関連について、議会で賛成多数で可決をされて正式に公表されているようである。市長の念願であった産業団地がいよいよ始まり、総事業費 17 億円、2 年かけて工事が完成する。企業をどうしても立地させなければならない訳である。議会も建設する決断をしたのだから市長と一緒に実践し成功させるべきである。この件に関しては特別委員会を設置し内外に意気込みを示すべきである。それについて説明を求める。

回答：市民からもその声を聞いているところである。全員協議会を開き準備はしているところである。

要望：今回は企業が来やすい体制・雰囲気作りが大切であり、市長をバックアップして、予算も必要ではあるが、お金を使わない方向で効果を上げることが必要と考える。要望であり回答は要らない。

回答：要望として受け止めておく。

質問：硫黄山の対策について。河川の汚濁については水質汚染・水質災害、これは国の管理しているところから有害物質を垂れ流している。国はきれいな水にして流すべきだ。今まで用水や家畜に与えていた水だ。環境省は自ら公害の垂れ流しをしているではないか。これは一刻も早く国の費用と責任で行うべきだ。議会にも市長にも言ってきたが現実的には難しいみたいである。今の国の技術をもってすればできないことはないと思うが、やる気があるのかどうか。国会を動かすぐらいの真剣さが必要だ。どう思うか。

回答：全議員・市長と共に要望に行った経緯があり、鹿児島県の伊佐市・湧水町ともにいると動きはしているところである。再度、上京して現場の状況・農家の心情を伝えたい。

要望：議会の意気込みは良くわかった。国が調査に来て具体的にこういう対策を講じますと。それでよいでしょうかと国が尋ねてくる筋合いのものである。もっと国に対して貴方たちはどうしてくれるのだと強く対抗すべきである。国へ対する意気込みがほしい。早急な策を講じてほしいと要望しておきます。

回答：要望として受け止めておく。

質問：保育所施設整備事業補助金について、今度、飯野地区に新しく今までなかった保育所ができると聞いているのだが、どこまで進んでいるのか。また、これに関しても補助金が付くのか尋ねる。

回答：この事業については、一般質問で尋ねた議員はいたが、議題として全く上がってきていないのが現状である。市としては今のところ白紙ということで議員も理解している。補助金についても申請もされていないし、認可もされていないということである。

質問：市議会で一度もその話はないということか。

回答：市としては申請書も意見書も白紙状態であるということである。

要望：保育所の関連だが、私も実際にえびので保育所を開所したいという方の話を聞いた。名前は出さないが、素晴らしい保育園経営を4ヶ所ほどされており、地域と一緒に事業を展開していると聞いている。模範的な保育園ができそうだなと思っている。実現すればえびの市民にとっても既存の保育園と共に素晴らしい展開になるのではないか。この事業が展開されたらえびの市にとっては移住政策にも影響を与えるチャンスになるのではないかと思いますので、是非バックアップして早い時期での実現を目指してご尽力をいただきたい。要望である。

回答：要望として受け止めておく。

2. 主な意見交換の内容

○共通テーマ「老人ホーム真幸園の民間譲渡」について

質問：民間譲渡についてメリット、デメリットを説明してください。

回答：メリットは維持補修費の負担が軽減され医療機関との連携によりサービスの向上が良くなる。入所者の程度に応じ法人の持つ技術や能力を生かした柔軟で迅速なサービスの提供がしやすくなる。長期的な視点に立ち計画的に安定的な管理運営が可能となる。デメリットは入所者数に限らず維持管理等の公費負担が発生する。また、請負法人が変わる可能性がある。施設の管理状況の把握がしづらくなるなどのメリット、デメリットが示されている。

質問：管理面だけを譲渡するというのか。施設は市の物として残すのか。建物一切を譲渡するのか。そうしたら市が維持管理補修費を何故負担することが発生するのか。譲渡したら市は全く面倒見ることには必要なくなるのではないのか。

回答：産業厚生常任委員会では、主に入所者判定について聞いたが、従来通り市が関与していくとのことであった。また、議会側にも十分な事前説明がなかったことなどから、問題提起があり、3月議会で提案されたが認められず、本会議採決の結果、選定委員会委員報償金46,000円は認められなかったものである。

意見：専門家が老人福祉の立場に立ったプロが専門的にサービスを充実して経営をやっていくのが望ましい姿であると思います。詳しい説明もなく唐突なことだったために、このような形になったのでしょうか。今後は執行部より具体的に前向きな提案があったら、市民のために良い結果を出していただきご尽力賜りたい。

意見：先程の説明だが、譲渡した場合に市が介入できると法的に何か明文化されているのか。民間に任せただけの場合の市の関与よりも、指定管理をさせている方が市は介入しやすいと思う。私の意見である。今後しっかり議論をして頂きたい。

回答：この問題については、今後所管の常任委員会で十分論議をしたいと思っています。なお、今回は譲渡ありきでの委員報償金でしたので、修正案という形で出させていただいたものです。

意見：分かりました。真幸園を譲渡するにせよ今後も指定管理等でやっていくにせよですね、どのような経緯でどういうふうに行き止ったのが市民にわかるようにしていただけたらと思います。よろしくお願いします。

○共通テーマ「文化センターの直営」について

意見：本来は指定管理にする施設ではない。やはりこの文化センターは市民の総合的な生涯学習活動・公民館活動の拠点施設として、直営で市が市の教育方針に沿った自由な学習活動の拠点として直営で管理運営されていくのが一番理想的であり、そうすべきであるというふうに思います。

回答：意見として受け止めさせていただきます。

○自由な意見交換

要望：前年も要望している案件であるが、山内地区の市水浄水場の横の農道は、交通量が多く危ないので、この道路を市道認定し、整備をお願いします。

質問：議員定数15名は、他市と比較し、人口比率からいくと、多いのではないか。

回答：今後、協議をしていきます。

要望：えびの中央線について、現在、池島地区で止まっている。目の前は加久藤である。早期につないでもらいたい。防災、輸送体系として重要な幹線である。目の前の市役所に直行で行けるように議会でも全力をあげて取り組んでもらうよう要望する。

3. 成果・効果等の報告

- 議会報告のタイトルを「みんなで語ってみろ会」にしたのは、イメージチェンジになったと思う。
- 市民の生の声を聞くことができ、効果はあったが、更に研究していきたい。
- 参加者の冷静な質問、意見が多く、有意義な報告会で成果、効果は十分に感じた。
- 議会報告のあり方や内容を今後も検討すべき時が来たのではないかと考える。
- 今回は、事前に広報車で案内を呼び掛けたが、参加人数は去年同様に少なかった。

4. 市行政に対する要望・提言等で重要と思われるもの

- えびの中央線の改良を早期に対応して欲しい。
- 山内浄水場前の農道を市道認定を行い、整備して欲しい。
- 硫黄山対策について、恒久対策を講じるよう国に強力に要望すること。
- 自治公民館に空調設備の一部助成の要望あり。(百歳体操時)

